

名称 ロクジョウ

他名等 シベリアジカ、マンシュウアカジカ、マンシュウジカ、ワピチ

部位等 雄の幼角 備考

学名(科名) ①*Cervus nippon* Temminck. ②*C. elaphus* L., ③*C. unicolor* Kerr, ④*C. albirostris* Przewalski, ⑤*C. macneilli* Lydekker [中薬大辞典 p 2785], ⑥*C. elaphus* L var. *xanthopygus* Miline-Edwards, ⑦ *C. nippon* Temminck. var. *mantchuricus* Swinhoe [和漢薬百科図鑑 II p 281] (Cervidae) シカ科

生薬名、基原動物和名等 ①シカ、②アカシカ、③スイロク、④ハクシンロク、⑤ハクロク [中薬大辞典 p 2785]、⑥マンシュウアカジカ、⑦マンシュウジカ [和漢薬百科図鑑 II p 281]

生薬名：鹿茸

医薬品として使用実態があるか Yes (国内一般医薬品に配合、CP 収載、中薬では内服で用いる)
<内服>3~5分を研って粉末にして服用する。あるいは丸剤か散剤にして用いる。または酒に浸してもよい。

毒性データ (LD50 等) *C. elaphus* aerial part water extract TDL₀ 200mg/kg (mouse, oral)

無毒との表記あり (新訂和漢薬)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの(類似化合物も含む)及びその原料植物であるか No
主要な二次代謝産物等

エストロン、エストラジオール、コレステロール、アデノシン三リン酸、コンドロイチンリン酸、レシチン(灰分中)、カルシウム、リン、マグネシウム (中薬大辞典)、estradiol, testosterone [Ling, Y., et al., *Zhongcaoyao*, 30, 499 (1999)]

主要な生理活性

元陽を壮んにする、気血を補う、精髓を強める、の効能がある(中薬大辞典)。虚勞、腰脊痛、疱腫(新訂和漢薬、p778)。

重要文献

Ling, Y., et al., *Zhongcaoyao*, 30, 499 (1999)

その他注意すべき点

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか Yes estradiol

評価：A

指定医薬品であるエストラジオールが含有されているため、専ら医薬品と考えられる。

名称 ロクベン

他名等 ロクジン [中薬大辞典、p2790]

部位等 シカの陰茎、こう丸 備考

学名(科名) ①*Cervus nippon* Temminck. ②*C. elaphus* L., ③*C. unicolor* Kerr, ④*C. albirostris* Przewalski, ⑤*C. macneilli* Lydekker [中薬大辞典 p 2785], ⑥*C. elaphus* L var. *xanthopygus* Miline-Edwards, ⑦ *C. nippon* Temminck. var. *mantchuricus* Swinhoe [和漢薬百科図鑑 II p 281] (Cervidae) シカ科

生薬名、基原動物和名等 ①シカ、②アカシカ、③スイロク、④ハクシンロク、⑤ハクロク [中薬大辞典 p 2785]、⑥マンシュウアカジカ、⑦マンシュウジカ [和漢薬百科図鑑 II p 281]

生薬名：ロクベン（鹿鞭）、生薬別名：ロクジン（鹿腎）

医薬品として使用実態があるか Yes (国内一般医薬品（至宝三鞭丸）に配合、中薬では内服で用いる）
<内服>2~5銭を煎じて服用する。また煮て食するか、煮詰めて軟膏剤にするか、丸剤や散剤に用いる。

毒性データー（LD50等） *C. elaphus* aerial part water extract TDLo 200mg/kg (mouse, oral)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

成分不詳

主要な生理活性

腎を補う、陽を壮んにする、精を益す、の効能がある（中薬大辞典、p2790）。陰萎、腰腿酸痛（新訂和漢薬、p777）。

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 無記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

指定医薬品に相当する男性ホルモンを含有していることから専ら医薬品と考えられる。

専ら医薬品として使用される成分本質(原材料)

3. その他（化学物質等）

名称 アスピリン

他名等 英名 Aspirin

備考

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載、BP, EP, USP

解熱鎮痛消炎用医薬品として多数使用されている。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

アセチルサリチル酸 (acetylsalicylic acid、EP ではこの名称で記載) を他名等に入れるべきではないか?

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

解熱鎮痛消炎剤である。

名称 アミラーゼ

他名等 英名 amylase

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

エヌ・エフ散等の医療用複合消化酵素剤の成分である。

毒性データ（LD50 等）

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

消化酵素である。

名称 アラントイン

他名等 英名 allantoin

備考 CAS No. 97-59-6

医薬品として使用実態があるか Yes USP, EP, BP 収載

組織修復作用がある。アラントインの形では医療用の配合成分として確認できないが、体内でアラントインとして作用する以下の医薬品が医療用の配合成分として用いられている。(1)アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネートが皮膚疾患治療剤に配合されている。(2)アルジオキサ（局方収載）が胃炎・消化性潰瘍治療剤に配合されている。

一般用医薬品では目薬、痔治療薬等アラントインが配合されている。

毒性データ（LD50 等） RTECS に毒性データなし。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネートには掻痒感、疼痛、刺激感などの副作用が認められている。アルジオキサには再評価時に便秘の副作用が認められている。

プリン代謝産物であるが、ヒトは尿酸をアラントインに変換するウリカーゼを持たないため、ヒトの体内では生成しない。

Botanical Safety Handbook 未記載

The Complete German Commission E Monographs Comfrey herb and leaf 及び Comfrey root の成分

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：B

外国の医薬品として多くの使用実態がある一方、食経験がなく、経口での安全性を示すデータはない。

名称 アロイン

他名等 バルバロイン 英名 aloin

備考 アロエの成分

CAS No. 1415-73-2

医薬品として使用実態があるか Yes アロインを主成分とするアロエとアロエ末が局方収載
アロエは緩下剤として使用される。

毒性データ (LD50 等)

LD₅₀ = 200 mg/kg bw (mouse, i.v.) LDLo = 500 mg/kg bw (cat, oral)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook 未記載

The Complete German Commission E Monographs Aloe の成分

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

専ら医薬品であるアロエの主有効成分であり、下剤として用量に注意が必要である。

名称 アンジオテンシン

他名等 英名 angiotensin

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

アンジオテンシン II (angiotensin II (JAN))ががん昇圧化学療法用医薬品として使用される。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

医薬品一般的名称ではアンジオテンシンである。I, II, III の3つがある。主要な生理活性ペプチドはアンジオテンシン II である。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

強力な血圧上昇作用を有するホルモン（オータコイド）である。

名称 アンドロステンジオン

他名等 英名 androstenedione (JAN)

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

医療用医薬品代謝性ホルモン剤メサルモンの一成分である。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

男性ホルモンである。

名称 インベルターゼ

他名等 英名 invertase

備考

医薬品として使用実態があるか

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

β -フルクトフラノシダーゼ、サッカラーゼ、インベルチンの名称でも呼ばれるので、他名等に加えるべきではないか。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

ショ糖を加水分解する消化酵素である。

名称 AMT

他名等 α -メチルトリプタミン

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: -

すでに麻薬に指定されており、リストから削除すべきである。

名称 *N*-ニトロソフェンフルラミン

他名等

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ（LD50 等）

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか Yes or No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

平成 14 年には、本化合物を含有する中国製ダイエット用健康食品による死亡事例が報告されている。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

フェンフルラミンの効能を意図して合成されたフェンフルラミン類縁体である。

名称 エフェドリン

他名等 英名 ephedrine

備考

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載、BP, EP, USP

医療用医薬品として多数使用されている。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

劇薬、指定医薬品、10%を越えて含有するものは覚せい剤原料である。

評価: A

覚せい剤原料である。

名称 カオリン

他名等 英名 kaolin

備考 CAS No. 1332-58-7

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載 USP, EP, BP 収載

医療用の配合成分として確認できないが、また、医薬品添加物としてパップ剤の基材に用いられている。一般用では下痢止め薬に配合されている。

EP および BP では heavy kaolin を内服薬として用いる場合の重金属試験が別に設定されている。また、BP には light kaolin および light kaolin (natural) が下痢止め薬として記載されている。

毒性データ (LD50 等) TDLo = 125 mg/kg bw (rat, intracerebral)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

カオリンは粘土であり、鉱物名はカオリナイト。組成式は $H_2Al_2Si_2O_8 \cdot H_2O$ である。

オランダで飼料製造に用いられたカオリナイト中に 910 ng PCDDF WHO-TEQ/kg のダイオキシンが検出された。(国立医薬品食品衛生研究所、食品安全情報 2004 年 24 号)

Botanical Safety Handbook 未記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : B

日本薬局方および諸外国の局方に収載され、医薬品として使用実態がある。

名称 カタラーゼ

他名等 英名 catalase

備考

医薬品として使用実態があるか

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

過酸化水素の分解反応を触媒する酵素で、動物、植物、微生物の好氣的細胞に広く分布する。動物では、肝、赤血球、腎にほとんどそのすべてが含まれる。食品の加工に用いられる場合は食品添加物（既存添加物）である。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

異化酵素の一種である。

名称 γ -オリザノール

他名等 英名 γ -oryzanol

備考

CAS No. 11042-64-1

植物ステロール及びトリテルペンアルコールのフェルラ酸エステル。

医薬品として使用実態があるか Yes

医療用医薬品として用いられている。

コレステロールの吸収を抑える作用があり、高脂血症用薬に用いられる。また、自律神経を安定させる作用があり、更年期障害の改善などに用いられる。

毒性データ（LD₅₀等） LD₅₀ > 25 g/kg bw (rat, oral), LD₅₀ > 25 g/kg bw (mouse, oral)

LD₅₀ = 100 mg/kg bw (rat, skin), LD₅₀ = 100 mg/kg bw (guinea pig, skin),

調査症例 12,637 例中 168 例（1.33%）に臨床検査値の異常値を含む副作用が認められている（承認時、再審査終了時及び再評価終了時）。例えば、0.1～5%未満で眠気、嘔吐、下痢が認められている。

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

γ -オリザノールを含む玄米胚芽（イネの胚芽・胚芽油）は医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）リストに記載されている。

Botanical Safety Handbook 未記載

The Complete German Commission E Monographs 無記載

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

自律神経賦活剤として用いられる医療用医薬品成分であり、眠気、嘔吐、下痢などの副作用が認められている。

名称 グアイフェネジン

他名等 英名 guaifenesin

備考

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載

医療用鎮咳去痰薬フストジルの成分である。

毒性データー (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価：A

医療用鎮咳去痰薬の成分である。

名称 グルタチオン

他名等 英名 glutathione

備考

化合物名 *N*-(*N*-L- γ -Glutamyl-L-cysteinyl)glycine, C₁₀H₁₇N₃O₆S

グルタミン酸、システイン、グリシンから成るトリペプチドであり、非たんぱく質性の SH 成分として細胞内に多量に存在する。臓器によって異なるが、細胞内濃度は一般に 0.5~10mM の範囲と言われており、通常還元型が大部分を占める。還元型を GSH、酸化型を GSSG と表す。通常、酵母や藍藻から抽出、精製されている。

医薬品として使用実態があるか Yes

解毒剤として医療用に多数商品がある 内服 1回 50-100mg, 1日 1-3回 注射剤、点眼剤もある。グルタチオン錠は医療用であるが、ネットで販売がみられる。

毒性データ (LD50 等) RTECS L-glutathione toxicity oral mouse LD50 5g/kg, i.v. rabbit LD50 >2g/kg, reproductive effect; oral rat TDL0 1250mg/kg 用量から見てほとんど毒性はない

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

生体酸化還元平衡剤 適応 内服の場合 薬物中毒、アセトン血性嘔吐症、金属中毒、妊娠悪阻、晩期妊娠中毒 重大な副作用として、アナフィラキシー様症状 (注射剤)

重要文献

医療薬 日本医薬品集

その他注意すべき点

グルタチオン含有酵母としては、ビール酵母、トルラ酵母、パン酵母等がネット上でみられる。

グルタチオンの名前で健康食品としてネットで売られているものも散見される

アナフラキシー様症状 (0.1%以下)、野菜には少ない。ベジタリアンは注意が必要。一日必要量 100mg。

Botanical Safety Handbook なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価

中毒症状の解毒剤として重要な医薬品であり、国内外での使用実態がある。他方、経口での安全性には特に問題があるとは考えられない。

名称 2C-I

他名等 4-ヨード-2,5-ジメトキシフェネチルアミン
備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分である。

名称 2-C T-2

他名等 2,5-ジメトキシ-4-プロピルチオフェネチルアミン

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

一般的に使用されている 2C-T-2 に名称を変更するべきではないか。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分である。